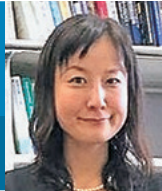


中尾悠利子

NAKAO, Yuriko



准教授

所属…経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

<https://researchmap.jp/sus-ac/>

Profile

■ **主な担当科目** 環境経営、経営戦略論、共生経営論

■ **研究者略歴**

| | |
|------------------|---|
| 2005 (平成17) 年 9月 | 関西学院大学大学院総合政策研究科博士課程前期課程修了 |
| 2012 (平成24) 年 9月 | 神戸大学大学院経営学研究科専門職学位課程修了 |
| 2013 (平成25) 年 4月 | 関西学院大学経済学部非常勤講師 (～2013年9月) |
| 2014 (平成26) 年 4月 | 鳥取環境大学経営学部経営学科講師 |
| 2015 (平成27) 年 4月 | 公立鳥取環境大学経営学部経営学科講師 |
| 2016 (平成28) 年 4月 | 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻講師 |
| 2017 (平成29) 年 9月 | 神戸大学大学院 経営学研究科 経営学専攻 博士課程後期課程 修了 博士 (経営学) |
| 2018 (平成30) 年 4月 | 公立鳥取環境大学 経営学部経営学科 大学院環境経営研究科 経営学専攻 准教授 |

Research

■ **取得学位** 博士 (経営学) (神戸大学)

■ **専門分野** 環境経営, CSR経営

■ **現在の研究テーマ** 企業のESG (環境・社会・ガバナンス) 情報におけるテキストを対象とし、定量分析を行っています。ESG情報は、財務情報とは異なり定量情報の解釈が標準化されていないことから、定性情報による説明が重要であると考えられます。したがって、定性情報であるテキストにどのような特性があり、企業評価に活用するための課題を明らかにすることは重要であると考えられます。

■ **受賞歴** 2018年10月 日本社会関連会計学会2018年度学会奨励賞

■ **所属学会** 日本会計研究学会、日本社会関連会計学会、環境経済・政策学会、日本組織会計学会、神戸CSR研究会

Data

■ **研究等活動**

【著書】

- ・「環境とCSR」第11章、「CSRの基礎—企業と社会の新しいあり方—」2017年、中央経済社
- ・「企業の社会的責任活動と企業業績ならびに環境イノベーション」第15章 (共著)、「持続可能社会と市場経済システム」、2008年、関西学院出版会
- ・「環境パフォーマンスと財務パフォーマンスの関連性:日本企業についての実証分析」第3章 (共著)、「環境政策が企業の環境・財務パフォーマンスの関与に及ぼす影響」第4章 (共著)、「環境経営のイノベーション—企業競争力向上と持続可能社会の創造」、2006年、生産性出版
- ・「持続可能性報告書とGRIガイドライン」第7章、「企業とステークホルダーとの対話」第14章、「持続可能社会のフロンティア」(共著)、2004年、関西学院出版会

【論文】

- ・「言葉と環境/社会パフォーマンスとの関連—テキストマイニングによるCSRレトリック分析—」(単著) 2018年、「社会関連会計研究」第30号、63-84頁
- ・「サステナビリティ報告とレトリック—経営トップメッセージのテキストマイニング—」(単著)、2017年、「神戸大学大学院経営学研究科博士論文」(学位授与番号:甲第318号)、1-168頁
- ・「環境社会報告の記述的表現の研究の方法と結果に対する考察」(単著)、2015年、「鳥取環境大学紀要」第13号、31-40頁
- ・「社会・環境パフォーマンスと記述的表現の関係性:社会環境報告書の分析を通して」(共著)、2014年、「会計」185巻第6号、68-81頁
- ・「企業評価におけるESG情報開示のメリットとわが国における課題」(単著)、2012年、「総合政策研究」、第40号、99-103頁
- ・"Corporate environmental and financial performances and the effects of information-based instruments of environmental policy in Japan" (共著), 2007, International Journal of Environment and Sustainable Development, Vol. 6, No. 1, pp.95-112
- ・"Relationship between environmental performance and financial performance: an empirical analysis of Japanese corporations" (共著), 2007, Business Strategy and the Environment, Vol. 16, Issue 2, pp.106-118

【Proceedings of the Seventh Asia Pacific Interdisciplinary Research in Accounting Conference】

- ・"Exploring the CEO's words for Sustainability: Trends in Environmental and Social Disclosure from 2001 to 2015," (共著), 2017, CSEAR North-Asia Hong Kong Conference 2017
- ・"Determinants of Narrative Content of Sustainability Reporting by Japanese Companies" (共著), 2013, APIRA(The Seventh Asia Pacific Interdisciplinary Research in Accounting Conference), Kobe, Japan

【Discussion Paper】

- ・"Using a neural network for text analysis of sustainability disclosure," (共著), 2019, Tottori University of Environmental Studies Faculty of Business Administration, Discussion Paper No. 2018-03, pp.1-25
- ・"Do Sustainability Reports Strategically Employ Rhetorical Tone? : An evidence from Japan" (共著), 2019, Graduate School of Business Administration, Kobe University, Discussion Paper Series, 2019(1) pp.1-24

■ **社会貢献活動**

- ・SDGsと企業経営 鳥取実業倶楽部 2018年12月例会
- ・鳥取県信用保証協会理事 (2018年8月～2021年7月)、鳥取県防災会議委員 (2018年3月～2020年3月)